					12 *	計画		<i>/</i> · · <i>/</i> · · <i>/</i> · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
教	£1.	_	一般	科目		経営概論		対象級	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01
叙	1°T		旭文	行日		在呂似冊		刘参称	学科4年(一級コース)	開講期	<u>前期</u>
教科	担当	別紙参	照								
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験		取組加減
〔授業	概要•	目的〕									
•1級	整備士	:として	の対人関ク	係能力及で	ゾコミュニ	ケーション	能力の向し	Ŀ.			
•相手	(個人	及び集	(団)への	影響力を高	島める(PL	A)					
〔授業	の到達	達目標]									
•ソー	シャル	スタイル	レを知り、	相手にあっ	た対応力	を身につり	ける。				
〔学習	評価0	つ基準]									
各試馬	 魚点数	の基準	[、レポー]	>評価及授	業の取り	組みを総合	うして、「5・	4.3.2.1	」の5段階で表わす。		
5:特	に成績	優秀な	もの 4:点	え 績良のもの) 3:成績	普通のもの	2:成績	やや劣るも	の 1:成績特に劣り、	不合格のも	の
各試馬	 魚点数	の評価	iは 5:90	~100点	4:75 ~	89点 3:6	60 ~ 74点	į			
			6	0点未満の	場合は再	試験を行	う。尚、再詞	試験後の記	平価は試験規程によ	る。	
〔使用	教科書	≛・教材	等〕								
PIAラ	ーキスト	、ディー	ーラーオ〜	ペレーション	/研修テキ	トスト					
					授	業計画	ī 表				No. 1
STEP	標準時限					ŧ	受業内容(項目)			
1	2	ディー	ラーオペ	レーション	の理解						
	2	PIA事i	前アンケー	ート:ソーシ	ャルスタイ	, 小判定の.	ためのアン	ケート			

12 PIA研修(影響力創造研修)

単元試験

				授業	計画	(シ	ラ	バ ス)				
教	£l	一般	科目		営業実務			対象級	専門課程 一級自動車	江龙胆弘	作成月日	25/04/01
教	1°1'	一万又	竹日		当 <i>未</i> 天伤			刘参称	一級日勤年 学科4年(-		開講期	<u>後期</u>
教科	担当	別紙参照										
実務組	E 験教員	負授業 非該当	総時限	17時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験	単元試験		取組加減
〔授業	概要•	目的〕										
•販売	会社は	こおける実務と	しての知識	を身につけ	けると共に、	接客	実務	の能力向	上を図り第	実践する。		
〔授業	の到達	達目標]										
身に	つけた	接客実務の	印識を実践で	ごきるように	なる。							
〔学習	評価の	7基準〕										
各試	食点数	の基準、レポ	一卜評価及授	業の取り	組みを総合	iして、	ſ5 ·	4.3.2.1	」の5段階	で表わす。		
5:特	に成績	優秀なもの 4	:成績良のもの	ひ 3:成績	普通のもの	2:)	成績	やや劣るも	の 1:成績	持に劣り、	不合格のも	の
各試馴	食点数	の評価は 5:	90~100点	4:75 ~	89点 3:6	so ~	74点	į				
			60点未満の	場合は再	試験を行	5。尚、	、再語	試験後の記	平価は試験	食規程によ	る。	
〔使用	教科書	書・教材等]										
ディー	ラース	トペレーション	研修テキスト	•								
				授	業計画	表						No. 1
STEP	標準時限				艺	受業内	容()	頁目)				
1	5	【営業実務】則	反売の基本沿	手動								
	1	【営業実務】I	Hondaの施第									
	3	【サービス部門	門マネジメン	ト基礎]基	本事項の確	雀認• -	サー	ビス部門の	つ目的と役	割		
	4	【サービス部	門マネジメン	ト基礎】サ	ービス部門	運営	のポ	イント				
	4	【サービス部門	門マネジメン	ト基礎 】 計	数管理の基	基本						

単元確認

				欠 来	計画	(>	7	<i>/ / / / / / / / / /</i>			
± /-	科	一般	科目		営業実務			対象級	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01
- 叙	.77 	刈又	作日		当 <i>未</i> 天伤			刘参顺	学科4年(一級コース)	開講期	<u>前期</u>
教科	担当	別紙参照									
実務約	圣験教員	員授業 非該当	総時限	17時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 単元試験	Ī	取組加減
〔授業	概要•	目的〕									
・販売	会社は	こおける実務とし	ての知識を	を身につい	けると共に、	接客	実務	の能力向	上を図り実践する。		
〔授業	の到達	達 目標〕									
身に	つけた	と接客実務の知	識を実践で	ぎきるように	なる。						
〔学習	評価の	の基準〕									
各試	険点数	の基準、レポー	卜評価及授	業の取り	組みを総合	れて、	۲5 ۰	4.3.2.1	」の5段階で表わす。	>	
5:特	に成績	賃優秀なもの 4:5	龙績良のもの	つ 3:成績	普通のもの	2:	龙績 [、]	やや劣るも	の 1:成績特に劣り、	不合格のも	の
各試験	険点数	の評価は 5:90)~100点	4:75 ~	89点 3:6	60 ~	74点	`			
		6	0点未満の	場合は再	試験を行	う。尚、	再語	式験後の記	平価は試験規程によ	る。	
〔使用	教科	書·教材等〕									
ディー	ラース	ナペレーション研	修テキスト								
				授	業計画	表					No. 1
STEP	標準時限				担	受業内	容(」	頁目)			
1	4	接遇マナー研修									
	2	コミュニケーション	講座								
	2	販売会社の周辺	知識								
	2	マナー研修(マナ	一、常識の	基本、挨技	ッ、お辞儀、	言葉遺	遣いの)練習)			
	2	サービス営業活動	動								
	4	サービスフロント	として身につ	けたい知	識						

1 単元試験

			3× /k	. ні на			, ,			
 教科	一般	 科目	惶	· 青報処理技行			対象級	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01
	/	1111					7.4 24 102	学科4年(一級コース)	開講期	後期
教科担当	別紙参照		т							
実務経験教員	員授業 非該当	総時限	6時限	授業方法	講	義	評価方法	今期評価なし		取組加減
〔授業概要•	目的〕									
・社会人とし	てのパソコン操作	作能力の向	『上を図る	'0						
・サービスフ	'ロントシステムの	が概要を理解	解し、操作	:能力を高と	かる					
〔授業の到達	童目標〕									
・パソコンを	使用しインターン	/シップ資料	科の作成な	ができる。 						
〔学習評価の	の基準〕									
各試験点数	の基準、レポー	卜評価及授	業の取り	組みを総合	ilて、	Γ ₅ ,	·4·3·2·1	」の5段階で表わす。	·	
5:特に成績	責優秀なもの 4:F	成績良のもの	の 3:成績	普通のもの	2:5	 龙績	やや劣るも	の 1:成績特に劣り、	不合格のも	0
各試験点数	枚の評価は 5:90	~100点 4	$4:75 \sim 89$	点 3:60~	- 74点					
	60,	点未満の場	合は再試験	ーーー 戻を行う。 尚	、再試	験後	の評価は診	式験規程による。		
レポートの	- 評価は 5:非常に	優れている	, 4:優れて	こいる 3:普	通	2:	やや劣る!	1:劣る(再提出の必要	がある)	
〔使用教科	書•教材等]									
ディーラース	ナペレーション研	修テキスト								
			授	業計画	重 表					No. 1
STEP 標準時限				ž.	受業内	容()	項目)			
1 6	インターンシップ	プ報告資料	ł作成							
	・拠点概要、従	業員数等								
	•研修内容									
	・今後の課題									
	•課題対応									
	・自己評価									

				授業	計画	(シ)	ラ	バ ス)				
±/.	£)	ńл	4 1 D	.i-i	±17 An TH ++	45		₩	専門課程	= TT 47: 88 3%	作成月日	25/04/01
教	件	一般	科目	1 <u> </u>	青報処理技	加丁		対象級	一級自動車 学科4年(-	■研究開発 −級コース)	開講期	<u>前期</u>
教科	担当	別紙参照	-	-					-		-	
実務組	E験教員	月授業 非該	当総時限	11時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験	単元試験		取組加減
〔授業	概要•	目的〕										
•社会	人とし	てのパソコン	/操作能力の向	可上を図る	0							
・サー	ビスフ	ロントシステ、	ムの概要を理	解し、操作	能力を高	める						
〔授業	の到達	を目標〕										
・パソコ	コンを	使用したサー	ービスフロントシ	/ステムで	整備受入	書の作品	戈が	できるよう	になる。			
〔学習	評価の	り基準〕										
各試懸	食点数	の基準、レオ	ペート評価及授	業の取り	組みを総合	いて、「	5.	4.3.2.1	」の5段階	で表わす。		
5:特	に成績	優秀なもの	4:成績良のもの	か 3:成績	普通のもの	2:成	績々	やや劣るも	の 1:成績	責特に劣り、	不合格のも	の
各試懸	食点数	の評価は 5	5:90~100点	4:75 ~	89点 3:6	$50 \sim 7$	4点					
			60点未満の)場合は再	試験を行	う。尚、	再設	式験後の評	平価は試験	検規程によ	る。	
〔使用	教科書	書・教材等〕										
ディー	ラース	トペレーション	/研修テキスト									
				授	業計画	1 表						No. 1
STEP	標準時限				担	受業内容	\$ (J	頁目)				
1	3	インターンシ	/ップ先事前調	査								
	3	インターンシ	/ップ事前研修	きまとめ								
	4	e-ディーラー	一研修									
	1	単元確認										

 教科	学科		科目	自動車概論Ⅱ				対象級	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01
秋杆	自動	車概論	17 0	Ш	目動車概論Ⅱ			学科4年(一級コース)	開講期	<u>前期</u>	
教科担当	別紙参	≽照									
実務経験教員	実務経験教員授業 非該当 総時限		総時限	19時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 単元·期末試験		取組加減

〔授業概要·目的〕

・国家1級総合診断・環境保全・安全管理、法令教材テキスト記載の内容の知識を習得する。

〔授業の到達目標〕

・国家1級総合診断・環境保全・安全管理、法令教材テキストの理解を深め国家1級合格レベルの知識を習得する。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

[使用教科書・教材等]

国家1級テキスト・総合診断・環境保全・安全管理

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	1	環境 環境保全、資源の有効利用、産業廃棄物処理の影響と対応	
	1	環境 整備事業場などにおける環境保全	
	1	安全 安全管理、火災のあらまし、災害防止	
	1	環境•安全総合復習	
	1	法令 自動車の登録等 施行規則の別表	
	1	法令 道路運送車両の保安基準、点検基準、検査等	
	1	法令 保安基準<自動車の寸法等、原動機等>	
	1	法令 保安基準<車枠及び車体等、騒音防止装置等>	
	7	練習問題	
	1	法令 保安基準<灯火装置等、警音器等>	
	1	法令 自動車 NOx・PM法	
	1	法令総合復習	
	1	単元試験	

	教科		学科	科目	エンジン制御システム			対象級	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01
	致什	自動	車概論	111 []		エンシン制御システム			学科4年(一級コース)	開講期	<u>前期</u>
	教科担当	別紙参	≩照	<u> </u>							
	実務経験教員	授業	非該当	総時限	19時限	19時限 授業方法 講 義 討		評価方法	学科試験 単元·期末試験	ì.	取組加減
Ī	(松紫瓶田.										

〔授業概要•目的〕

・国家1級エンジンテキスト記載の内容の知識を習得する。

〔授業の到達目標〕

・国家1級エンジンテキストの理解を深め国家1級合格レベルの知識を習得する。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

[使用教科書・教材等]

国家1級テキスト・総合診断・環境保全・安全管理

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	1	電気・電子回路の基本と測定技術知識の習得(プリントE-1使用)	
	1	オシロスコープの活用知識の習得(プリントE-2使用)	
	1	電気回路の構造、機能、点検知識の習得(プリントE-3使用)	
	2	センサ関連知識の習得(プリントE-4~E-5使用)	
	4	アクチュエータ関連知識の習得(プリントE-6~E-9使用)	
	2	CAN通信システム知識の習得(プリントE-10~E-11使用)	
	1	電子制御装置に関する故障診断の進め方(プリントE-12使用)	
	1	センサ系の故障診断(プリントE-13使用)	
	1	エンジン警告灯無点灯時の点検、整備方法(プリントE-14,15使用)	
	1	新技術 ハイブリッド車関連の知識の習得(プリント新-1使用)	
	1	新技術 圧縮天然ガス自動車関連の知識の習得(プリント新-2使用)	
	1	新技術 筒内噴射式ガソリン・エンジン関連の知識の習得(プリント新-3使用)	
	1	新技術 コモン・レール式高圧燃料噴射装置関連の知識の習得(プリント新-4使用)	
	1	単元試験	

					授業	計画	(シ	ラ	バ ス)			
教	科		学科	科目	シャ	シ制御シス	テム		対象級	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01
		目 期	車概論						, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	学科4年(一級コース)	開講期	<u>前期</u>
教科	担当	別紙参	>照									
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	19時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 単元·期末試験		取組加減
〔授業	概要•	目的〕										
・国家	1級シ	ヤシテ	キスト記載	成の内容の	知識を習	得する。						
〔授業	の到記	全目標:)									
・国家	1級シ	ヤシテ	キストの理	関解を深め	国家1級台	合格レベル	の知言	哉を	習得する。			
〔学習	評価の	り基準]									
各試馬	険点数	の基準	生、レポート	~評価及授	業の取り	組みを総合	ilT,	آ5،	4.3.2.1	」の5段階で表わす。		
5:特	に成績	優秀な	さもの 4:点	対績良のもの	つ 3:成績	普通のもの	2:	 龙績	やや劣るも	の 1:成績特に劣り、	不合格のも	の
各試馬		の評価	5:90	~100点	4:75 ~	89点 3:6	so ~	74点	į			
			6	0点未満の)場合は再	試験を行	5。尚、	再	試験後の記	 平価は試験規程によ	 る。	
〔使用	教科	 小数 を	 才等〕									
国家1	級テキ	トスト	総合診断	听·環境保 ₂	全•安全管	·····································						
						<u>業</u> 計画	 ī 表					No. 1
STEP	標準時限						 受業内	容(:	 項目)			
1	3	AT関	連知識の	 習得(プリン	<u> </u>							
	3					~C-6使用)					
						·C-9使用)						
	J	1005	1VT \\L HHV \\	<u>ы</u> 13 (7 /	- 10 1	0 012/11/						

		授業計劃表 N	o. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	3	AT関連知識の習得(プリントC-1~C-3使用)	
	3	EPS関連知識の習得(プリントC-4~C-6使用)	
	3	ABS関連知識の習得(プリントC-7~C-9使用)	
	3	オート・エアコン関連知識の習得(プリントC-10~C-12使用)	
	3	振動、騒音関連知識の習得(プリントC-13~C-15使用)	
	1	CVT関連知識の習得(プリント新-5使用)	
	1	VSA関連知識の習得(プリント新-6使用)	
	1	SRS関連知識の習得(プリント新-7使用)	
	1	単元試験	

教科		実習 ごスマネジ メント	科目	サービ	スマネージ	メントΠ		専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01
42/1			11 11	, ,		/ V H		学科4年(一級コース)	開講期	前期
教科担当	別紙参	注照								
実務経験教員	員授業	非該当	総時限	29時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価	取組加減

〔授業概要•目的〕

- ・サービスマンとしての知識・技術の習得を通じ、自己のスキルアップを目指す。
- ・企業実習の事前研修として与えられた課題を履修する。

〔授業の到達目標〕

- ・販売会社が求めるサービスマンとしての知識、技術力を身につける。
- ・SE2級資格受験レベルの知識、技術力を身につける。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

〔使用教科書・教材等〕

・法令教材 ・SE2級テキスト ハード編、ソフト編

		授業計画表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	18	自動車販売に関する周辺知識及び点検整備・洗車サービスの概要と作業実践	
	2	実習確認	
2	3	SE2級実技試験対応 ・各種センサ、アクチュエータの点検・HDS、サーキットテスタを使用して電圧の確認	
	6	SE2級認定確認	

専門課程 作成月日 25/04/01 実務実習 教科 科目 企業実習 対象級 一級自動車研究開発 体験実習 学科4年(一級コース) 開講期 後期 教科担当 松下 忠史(一級自動車整備士)、有村 大樹(一級自動車整備士)、実習先各企業 総時限 84時限 授業方法 実習·実技 評価方法 実務経験教員授業 該当 レポート評価 取組加減

実務経験のある教員が、現場で必要な作業方法・知識について、実務経験を活かしてより実践的内容を指導し授業を行う。

〔授業概要・目的〕

- ・授業で学んだ理論と技術を実際の職場で実践、確認することで、自己の弱点を把握し、卒業までの具体的な課題と目標を明確にする。
- ・社会人としての自覚、お客様に対する意識の向上を図る。・販売店業務及びサービス実務内容の全般を理解する。

[授業の到達目標]

・現場で体験した自己の弱点に対して具体的な課題克服目標を持つ。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

		授 業 計 画 表	No. 1									
STEP	標準時限	授業内容(項目)										
1	84	第2回インターンシップ										
		①サービススタッフの基本										
	朝礼参加、毎日スピーチ(前日の実習内容と当日の目標) ②点検整備及び修理の実施 * 効率を考えた作業の実践 クイックサービス(ディスクパッド、ブレーキシューの交換など)											
		定期点検(24ヶ月点検、車検整備)										
		電子制御装置を含む故障診断(症状の確認から診断、HDSの活用、修理方法の習得)										
		③サービス業務の理解と実践										
		フロントアドバイザーの基本作業の習得(1回目の復習及び引き渡し業務)										

専門課程 作成月日 25/04/01 実務実習 教科 科目 企業実習 対象級 一級自動車研究開発 体験実習 学科4年(一級コース) 開講期 前期 教科担当 ┃松下 忠史(一級自動車整備士)、有村 大樹(一級自動車整備士)、実習先各企業 44時限 授業方法 実習·実技 評価方法 実務経験教員授業 該当 総時限 レポート評価 取組加減

実務経験のある教員が、現場で必要な作業方法・知識について、実務経験を活かしてより実践的内容を指導し授業を行う。

〔授業概要・目的〕

- ・授業で学んだ理論と技術を実際の職場で実践、確認することで、自己の弱点を把握し、卒業までの具体的な課題と目標を明確にする。
- ・社会人としての自覚、お客様に対する意識の向上を図る。・販売店業務及びサービス実務内容の全般を理解する。

[授業の到達目標]

・販売会社が求めるサービスマンとしての知識、技術力を身につける。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

		授 業 計 画 表	No. 1								
STEP	標準時限	授業内容(項目)									
1	44	第1回インターンシップ									
		①サービススタッフの基本									
	心構え、言葉遣い、挨拶、朝礼参加、毎日スピーチ(前日の実習内容と当日の目標)										
		②点検整備及び修理の実施 *時間、効率を考えた作業の実践									
		クイックサービス(エンジンオイル、灯火類の交換など)									
		定期点検(まごころ点検、12ヶ月点検)									
		簡単な故障診断(症状の確認から診断、修理方法の習得)									
		③サービス業務の理解と実践									
		作業の流れ(受付、整備作業、引き渡し、お確かめフォロー)の理解									
		フロントアドバイザーの基本作業の習得(受付、作業指示、作業管理)									
		第2回インターンシップ:10月予定									

教科		務実習	科目		専門実習		対象級	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01
教 杆	評	価実習	17 17		寺门天白		对多纳	学科4年(一級コース)	開講期	<u>後期</u>
教科担当	別紙参	参照								
実務経験教員	員授業	非該当	総時限	25時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価	取組加洞
〔授業概要•	目的〕									
・エンジ・シャ	シ系各	部門の電	子制御装置	の構造・機	能の完全理	1解と基礎は	女障診断技	術の習得		
•CAN通信シ	クテム	の概要習得	Ť							
〔授業の到達	幸目標									
•1級整備士	としての	実践的な問	汝障診断技	術を身につ	oける。					
・CAN通信シ	クテム	の概要を理	!解する(ホ)	ンダ内での	CANの種類	1、表記内容	マを知る)			
〔学習評価の	の基準									
各試験点数	の基準	隼、レポー	卜評価及授	業の取り	組みを総合	さして、「5・	4.3.2.1	」の5段階で表わす。		
5:特に成績	責優秀な	まもの 4:5	戈績良のもの	つ 3:成績	普通のもの	2:成績	やや劣るも	の 1:成績特に劣り、	不合格のも	0
各試験点数	女の評価	5:90	~100点 4	$4:75 \sim 89$	点 3:60~	~ 74点				
		60点	点未満の場	合は再試験	食を行う。 尚	、再試験後	の評価は記	式験規程による。		
レポートの記	評価は	5:非常に	優れている	4:優れて	ている 3:普	至通 2:5	やや劣る	1:劣る(再提出の必要	がある)	
〔使用教科	書•教林	才等〕								
・1級テキスト	エンシ	ジン電子制 [®]	御装置・シ	/ャシ電子#	制御装置 ・	SE2級テキ	スト ハート	編		
		_			業計画	表	_			No. 1
STEP 標準時限						受業内容(エ	百日)			

		授業計画表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	10	ZEインサイトを使用してCAN通信信号波形の観測及び信号電圧、終端抵抗の確認	
	10	ホンダにおけるCAN通信の概要	
	2	総合復習	
	3	実習確認	

教科		務実習	科目		専門実習		対象級	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01
秋竹	評価実習		111 11	401天日				学科4年(一級コース)	開講期	前期
教科担当 別紙参照										
実務経験教員	員授業	非該当	総時限	60時限	授業方法	実習•実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価	取組加減
(松光瓶田.	<u>п 441</u>							-		

〔授業概要•目的〕

- ・エンジン系センサの信号電圧、アクチュエータの駆動信号電圧の理解度を向上させる
- ・DMM・オシロスコープ・半導体・外部診断機等専門知識の幅を広げる

〔授業の到達目標〕

・1級整備士としての実践的な整備技術を身につける。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

・1級テキスト エンジン電子制御 ・SE2級テキスト ハード編

STEP	標準時限	授業内容(項目)											
1	14	GBフリードを使用してDCTトランスミッション及びEPSの脱着を行う	7リードを使用してDCTトランスミッション及びEPSの脱着を行う										
	2	復習											
	4	了 在 認											
2	11	3フリードを使用して各種センサの信号電圧を確認する											
	11	ZEインサイトを使用して各種センサの信号電圧を確認する											
	2	総合復習											
	2	実習確認											

					授業	計画	(シラ	バ ス)				
教和	斗		務実習 (医皮型	科目		応用実習		対象級	専門課程 一級自動車	研究開発	作成月日	25/04/01
			価実習						学科4年(-	一級コース)	開講期	<u>後期</u>
教科技	数科担当 別紙参照											
実務経	験教員	授業	非該当	総時限	61時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	単元試験	レポート評価	取組加減
〔授業権	授業概要・目的〕											
・エンジ	エンジン・シャシ系各部門の電子制御装置の総合診断技術を習得											
新技術	奇・振重	動騒音	等専門知識	の幅を広い	げる							
[授業の	の到達	全目標.]									
•1級整	備士	として	の実践的な	な整備技術	うを身につ							
〔学習言	平価の	の基準]									
各試験	点数	の基準	 生、レポー]	、評価及授	業の取り	組みを総合	 }して、「5・	4.3.2.1	 」の5段階 [*]	で表わす。		
5:特/	こ成績	優秀な	さもの 4:点	対績良のもの	つ 3:成績	普通のもの	2:成績	やや劣るも	の 1:成績	特に劣り、	不合格のも	の
各試懸	 魚点数	の評価	5:90	~100点 4	:75 ~ 89	点 3:60~	~ 74点					
			60点	京未満の場	合は再試験	検を行う。 尚	、再試験後	の評価は認	式験規程に	よる。		
レポー	-トの言	平価は	5:非常に	優れている	4:優れて	こいる 3:普	通 2:3	やや劣る	1:劣る(再拮	是出の必要	がある)	
〔使用都	数科	小小	才等〕									
1級テ	キスト	エンシ	ジン電子制	卸装置・シ	イン電子制	訓御装置 ・	SE2級テキ	スト ハート	編			
					授	業計画	載 表					No. 1
STEP 標	標準時限					ž	受業内容(コ	項目)				
-												

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	14	ZEインサイトを使用して各システムのセンサ、アクチュエータの点検、確認を行う	
	14	GBフリードを使用してオートエアコン各部のセンサ・アクチュエータの点検方法を理解する	
	1	総合復習	
	2	単元確認	
2	14	GBフリードにて下記の症状の時の故障診断を行い不良箇所の特定を行う	
	14	ZEインサイトで下記項目を実施する	
	2	単元確認	

	教科	実	務実習	科目		応用実習	1 1	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01	
	秋杆	評価実習		17 0	心用天自				学科4年(一級コース)	開講期	前期
教科担当 別紙参照											
	実務経験教員	授業	非該当	総時限	52時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価	取組加減
ĺ	〔授業概要・目的〕										

- ・エンジン・シャシ系各部門の電子制御装置の総合診断技術を習得
- ・新技術・振動騒音等専門知識の幅を広げる

〔授業の到達目標〕

・1級整備士としての実践的な整備技術を身につける。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

・1級テキスト エンジン電子制御装置 ・シャシ電子制御装置 ・SE2級テキスト ハード編

		授 業 計 画 表	No. 1										
STEP	標準時限	授業内容(項目)											
1	2	導入説明及び振動騒音プリント実施(1級公論社問題集使用)											
	8	CVアコードを使用して振動騒音について検証する											
	8	フリードを使用して振動騒音について検証する											
	6 外部診断機の取り扱いについて理解する												
	2	単元確認											
2	4	新技術のCVTについて学ぶ											
	4	GBフリードでVSAについて学ぶ											
	4	GBフリードでSRSエアバック、プリテンショナシートベルトについて学ぶ											
	4	新技術のCNGコモンレール筒内噴射式エンジンについて学ぶ											
	4	新技術のHV(ハイブリット)について学ぶ											
	3	総合復習											
	3	実習確認											

教科	実務実習		科目		総合実習		対象級	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01	
秋竹	評	価実習	717 [7]	心口犬目				学科4年(一級コース)	開講期	<u>後期</u>	
教科担当	教科担当 松下 忠史(一級自動車整備士)、有村 大樹(一級自動車整備士)、中林 昭雄(一級自動車整備士)										
実務経験教員	授業	該当	総時限	61時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価	取組加減	

・実務経験のある教員が、現場で必要な作業方法・知識について、実務経験を活かしてより実践的内容を指導し授業を行う。

〔授業概要・目的〕

- ・基礎的な各種整備作業の技術的なスキルアップ及び整備関連知識の幅を広げる。
- •国家1級口述試験対応

[授業の到達目標]

- ・1級整備士としての各種整備作業能力を身につける。
- ・国家1級口述試験合格レベルを身につける

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

・1級エンジン電子制御装置・1級シャシ電子制御装置・1級総合診断・自動車定期点検の手引き・法令教材

授業計画表 1							
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	28	口述試験対応(問診)					
	4	実習確認					
2	12	実践整備技術① 各種点検作業(GBフリード、ZEインサイト、CVアコード)					
	12	実践整備作業② ブレーキ系整備作業(GBフリード、ZEインサイト、CVアコード)					
	2	タイヤ交換作業実践					
	1	総合復習					
	2	実習確認					

教科	実務実習		科目	総合実習			対象級	専門課程 一級自動車研究開発	作成月日	25/04/01
秋杆	評	価実習	17 0	心口大日				学科4年(一級コース)	開講期	<u>前期</u>
教科担当 松下 忠史(一級自動車整備士)、有村 大樹(一級自動車整備士)、中林 昭雄(一級自動車整備士)										
実務経験教員	員授業	該当	総時限	52時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価	取組加減

・実務経験のある教員が、現場で必要な作業方法・知識について、実務経験を活かしてより実践的内容を指導し授業を行う。

〔授業概要・目的〕

- ・基礎的な各種整備作業の技術的なスキルアップ及び整備関連知識の幅を広げる。
- •国家1級口述試験対応 •SE2級実技試験対応

[授業の到達目標]

- ・1級整備士としての各種整備作業能力を身につける。
- ・国家1級口述試験合格レベルを身につける
- ・SE2級実技試験合格レベルを身につける

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

〔使用教科書・教材等〕

・1級エンジン電子制御装置 ・1級シャシ電子制御装置 ・1級総合診断 ・自動車定期点検の手引き ・SE2級ハード・ソフト編

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	12	各種点検作業(GBフリード、ZEインサイト、CVアコード)	
	12	ブレーキ系整備作業(GBフリード、ZEインサイト、CVアコード)	
	2	実習確認	
2	11	口述試験対応(整備内容説明)	
	2	実習確認	
	12	SE2級実技試験対応 (GBフリード・ZEインサイト・CVアコード)	
	1	SE2級(ソフト編)復習	